

もしも災害発生時、大切な人と連絡が取れなくなったら、あなたはどのようにしますか？

総務省 アマチュア無線フォーラム in 北海道

アマチュア無線をもっと簡単・便利に！「電波利用電子申請・届出システムLite」^(注)

「アマチュア無線」は「携帯電話」や「インターネット」が誕生するずっと昔から、コミュニケーションを行う趣味として、様々なかたちで楽しまれてきました。

一方で、通信インフラが寸断された災害時には、有効な通信手段として注目されています。

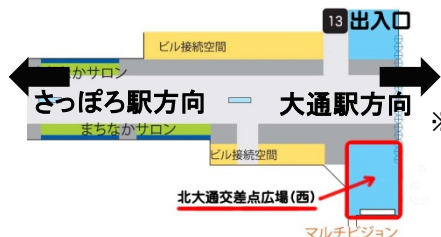
「アマチュア無線」をもっと楽しく、もっと便利に活用するための様々な方法がここにあります。

・日時

2012年2月18日(土) 11:00～16:00

・場所

札幌駅前通地下広場「北大通交差点広場(西)」



※ 最寄りの出入口、
北洋大通センターの南側地下出入口(13番)
地下鉄大通駅側5・6番出入口(北改札向い)



プログラム

(注)「電波利用 電子申請・届出システム Lite」とは、アマチュア局の電波利用に関する申請・届出をインターネットで行うことができるシステム。 <http://www.denpa.soumu.go.jp/public2/index.html>

・講演 13:00～14:00

『静電気を使って通信してみよう。』

根日屋 英之氏(株式会社アンプレット 代表取締役/東京大学 特任研究員)

1980年に日産自動車入社、電装機器を設計。その後、日立湘南電子(現・日立情報通信エンジニアリング)、東京大学生産技術研究所、日立製作所で人工衛星搭載用無線通信機、衛星地上局、RFID、光通信装置などを開発。1987年に無線製品の研究/開発を行うアンプレットを設立。無線関連企業の役員や技術顧問、大学やYRPでの講師を兼務。第1級陸上特殊無線技士、第1級アマチュア無線技士としてアクティブに活動中。

・特別講演 14:00～15:00

『「もしも」の時の命綱

～あなたを助ける「アマチュア無線」』

渡辺実氏(防災・危機管理ジャーナリスト)



防災・危機管理の仕事に携わって30年余。日本の自然災害被災地や大事故現場に足を運び、報道活動をはじめ復興や防災の啓蒙活動に力を注ぐ。9.11アメリカ同時多発テロ、ハリケーン・カトリナ、イラン大地震、四川省大地震など世界各国の被災現場へも飛び、現場体験をベースに災害報道や防災対策について国民サイドに立った辛口の提言を続けている。視点の鋭さと豊富なアイデアを持ち、防災関係者のみならず、災害報道に携わるTV・ラジオはじめメディア関係者からの信頼は厚い。東日本大震災以後は定期的に被災地へ伺い、取材と共に被災自治体の支援を続けている。

・タッチアンド・トライ 11:00～16:00

アマチュア無線をもっと、簡単・便利に！ 「電波利用電子申請・届出システムLite」



総務省が提供する「電波利用 電子申請・届出システムLite」で、アマチュア無線をもっと楽しく便利に！

※無線従事者免許証をお持ちいただければ、その場で手続きができます。
(要E-mailアドレス)

・展示ブース 11:00～16:00

アマチュア無線機器実機展示会！

アマチュア無線メーカー3社とJARL北海道地方本部による、アマチュア無線機器の展示会を開催します。最新機器からパーツまで、是非お手にとってお確かめください。
(協力:アマチュア無線連盟北海道地方本部、アイコム株式会社、株式会社JVCケンウッド、株式会社 バーテックススタンダード)

・主催 総務省、北海道総合通信局

・協力 一般社団法人日本アマチュア無線連盟北海道地方本部

・お問い合わせ

北海道総合通信局 企画調整課

電話 011-709-2311(内4629)